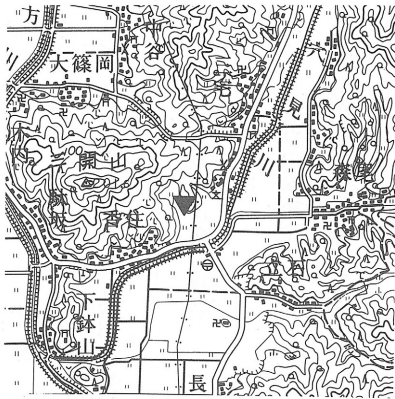


兵庫・香住エノ田遺跡

かすみえのた

- 1 所在地 兵庫県豊岡市香住字エノ田
- 2 調査期間 一九九五年(平7) 一〇月～一九九六年三月
- 3 発掘機関 豊岡市教育委員会
- 4 調査担当者 潮崎 誠
- 5 遺跡の種類 集落跡・祭祀遺跡
- 6 遺跡の年代 縄文時代～鎌倉時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(城崎)

香住エノ田遺跡は、豊岡市街地から約4km南東にあり、標高約二〇〇mの三開山の東山麓に所在する。比高約四〇mの独立性丘陵の

南裾部が調査地で、北側から幅狭く降りてくる谷の開口部でもある。標高は八m前後を測る。

丘陵とその周囲では、市・県・民間などによる開発を要因に、一九八七年～一九九二年にかけて随時、調査を行ない、墳墓・古

墳・横穴墓・竪穴住居・掘立柱建物など、弥生中期前半から鎌倉時代にかけたの遺構と、弥生後期～古墳前期の土器を主体とした多量の遺物を検出している。遺物には、若干量の縄文土器も含まれている。このように、市域では代表的な複合性の遺跡であり、エノ田遺跡群と総称している。

木簡が出土した今回の調査地は、このうちの井走地区にあたり、民間宅地開発に伴う調整池の予定場所である。木簡は、A区17とした約二五㎡の長方形区画内から、一点が破片となって出土した。排土からの採集ではあったが、地表から約一・二mの暗白灰色粘質土の直下付近に含まれていた。その位置は、斎串などの木製祭祀具や八世紀の須恵器を含む溝Ⅰの埋土上部付近にあたる。溝Ⅰは、幅一・五m前後、深さ約〇・八mで、丘陵を背にして北東から、谷口方向である南西に下っている。北隣りにも溝Ⅰに併走するやや規模の小さな溝Ⅱがあり、同時期の須恵器とともに、木の細枝や木製品の加工時のものらしい微細な削りかすなどを含んでいた。

山裾側に拡張した区画では、両溝は接してひとつになるらしく、明確には検出できなかったものの、谷奥の北方向に曲がっている。その屈曲部のあたりに、板材を用いた水路状の施設が二本みつきり、下部には内幅が四〇cmのもの、上部には内幅三〇cmのものが、わずかにずれて重複していた。これらは主軸を南北方向にとっている。下部施設の北側小口には、上端に方形のくりこみのある横

板を立てて固定しており、これは水量調整の堰板らしい。これら二つの水路施設は、溝からの取水施設ではないかと考えられる。溝や水路施設の周辺には、祭祀具その他の木製品が散在しており、若干の須恵器を伴っていた。

すぐ背後に丘陵がせまっている立地や、木製祭祀具の広がりがこの拡張区画ではほぼ終わることなどから、このあたりで祭祀をとり行なっていたものと推定される。

木製祭祀具は、斎串を主体に、人形・馬形・鳥形・刀子形などが一五〇点ほどある。土器は比較的少ないが、須恵器の蓋杯・高杯・壺・甕・横瓶などがあり、高台がつく杯身では硯に転用したものが目についた。また、墨書須恵器が一点あり、無高台杯身の外底部に「神田」とある。これらは、平安期のものが少量混じるものの、ほぼ八世紀中頃の年代を与えることができる。木簡も、この時期に祓えに伴って廃棄された遺物であろう。

8 木簡の釈文・内容

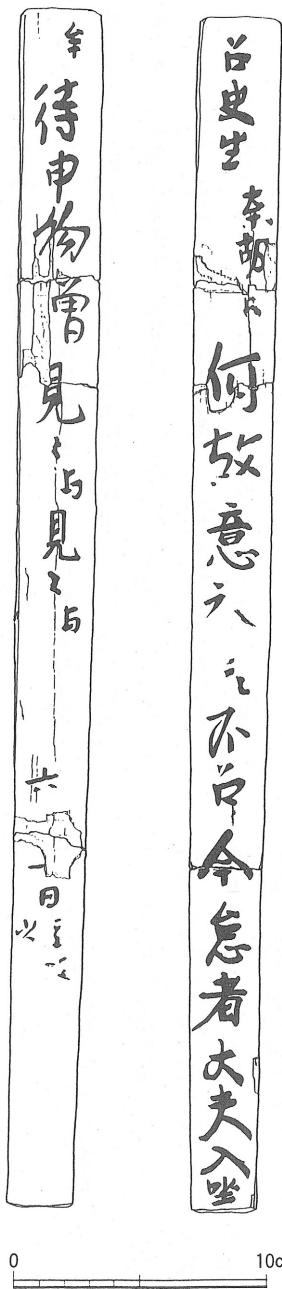
(1) ・「召史生^{奈胡}□何故意□□不召今怠者大夫入坐」

・「牟待申物曾見ミ与見ミ与 六□□日^{主帳}少□□」

〔領カ〕
477×32×8 011*

上端から一・一cm、下端から一・三・五cmにある二カ所の折れは、刀子などで一方から切り目を入れて折ったものである。文字は表裏で一文となり、送り仮名（助詞）が右に寄せて小さく表記される宣命体になっているのが注目できる。文章内容は、郡衙（この場合、出石郡衙）の官人（主帳・少領の連名）が国衙の官人（史生）を呼び出そうとしたためらしいもので、地方における郡衙と国衙、あるいは郡司と国司の政治的・行政的関係を知る上で貴重な資料である。

ただ、出石郡衙とは考えにくい当遺跡にどのような経緯でもたら



され、どのような背景で廃棄されたのか、という問題は残ろう。

エノ田遺跡群では、独立性丘陵の中腹から奈良時代の掘立柱建物群、東方の山裾からは平安時代の大型掘立柱建物・井戸、さらに尾根上からは須恵器蓋杯を火葬骨容器とした奈良時代の墳墓などがみつかっている。また、約1km以内の距離に、木製祭祀具の出土地が二カ所、大字としての「三宅」||ミヤケの地名、古代寺院「葉琳寺」推定地などが知られている。

このように、遺跡周辺は律令期における但馬国出石郡穴見郷の行政的中心地であり、今回の調査地は、実態は不明確ではあるがそれに伴う祓所（はらえと）である可能性を考えておきたい。

なお、木簡の積読・撮影などにあたり、館野和己・古尾谷知浩・東野治之・田中忠雄・平川南・佃幹雄の各氏にご尽力いただいた。

9 関係文献

豊岡市出土文化財管理センター『とよおか発掘情報』一（一九九六年）

（潮崎 誠）